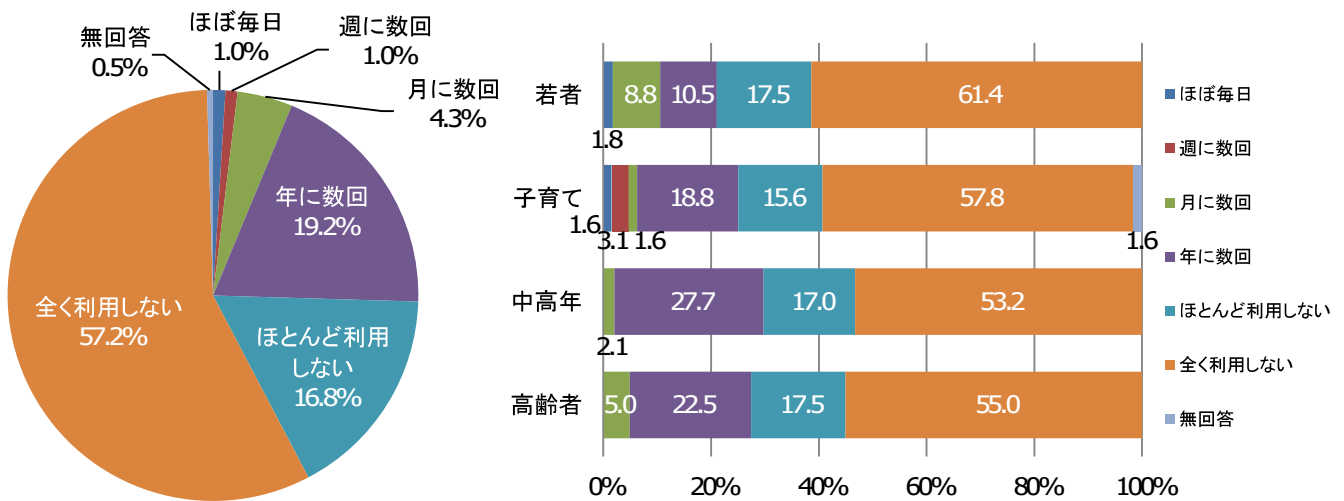


<佐鳴湖の水環境等について>

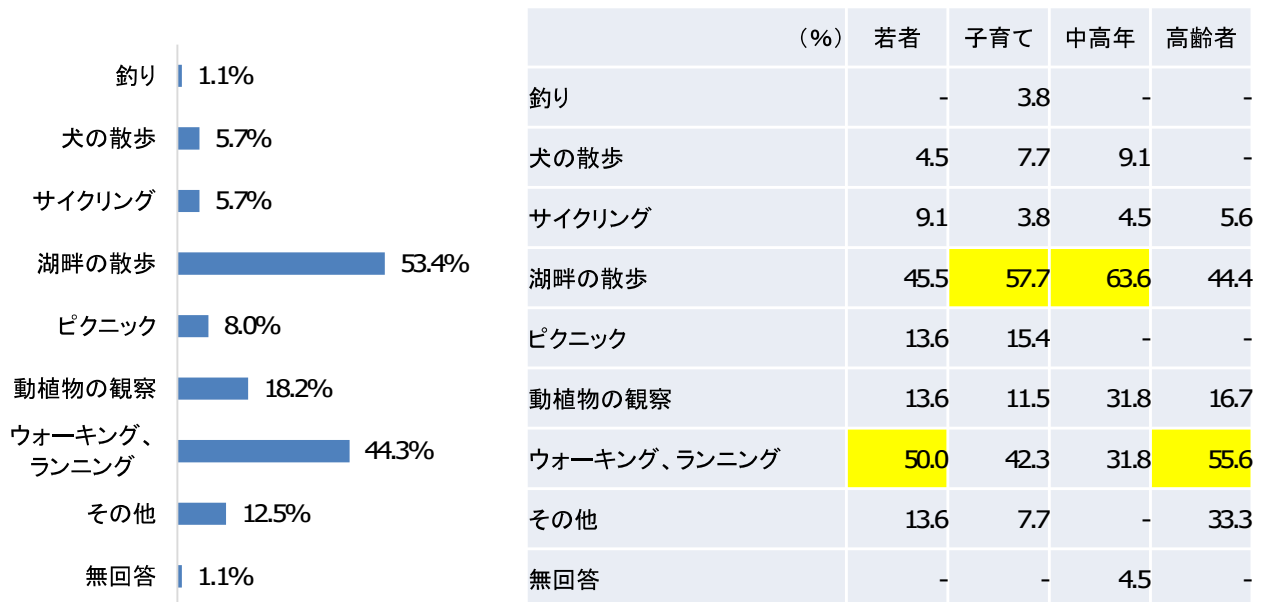
問1 佐鳴湖の利用頻度 (N=208)



- 佐鳴湖の利用頻度については、「全く利用しない」が約6割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「全く利用しない」が最も多い回答となっています。

問2 佐鳴湖の利用目的 (N=88 複数回答)

(問1で「1 ほぼ毎日」「2 週に数回」「3 月に数回」「4 年に数回」「5 ほとんど利用しない」と回答した方)



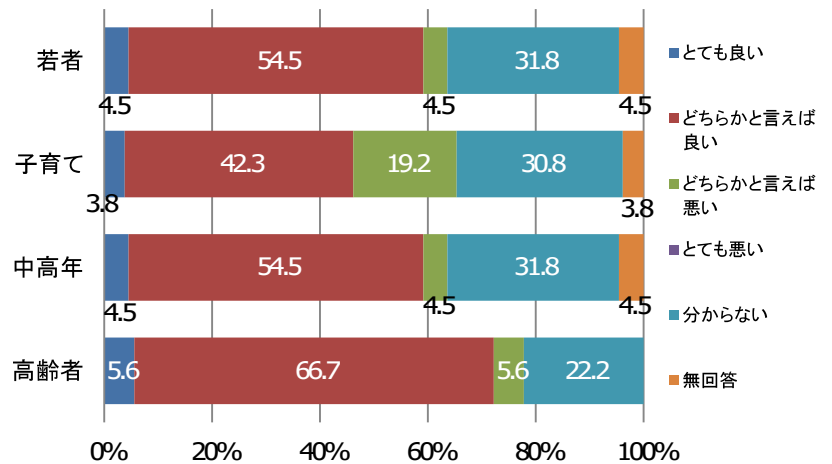
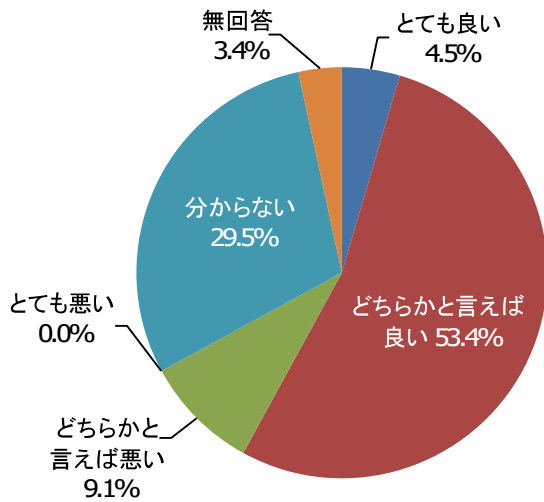
■その他意見

- ・花火大会
- ・お花見
- ・スケッチ
- ・待ち合わせ
- ・トイレの使用

- 佐鳴湖の利用目的については、「湖畔の散歩」が約5割と最も多く、次いで「ウォーキング、ランニング」が約4割となっています。
- 世代別にみると若者・高齢者では「ウォーキング、ランニング」が、子育て・中高年では「湖畔の散歩」が最も多い回答となっています。

問3 佐鳴湖、佐鳴湖公園の利用マナーについて (N=88)

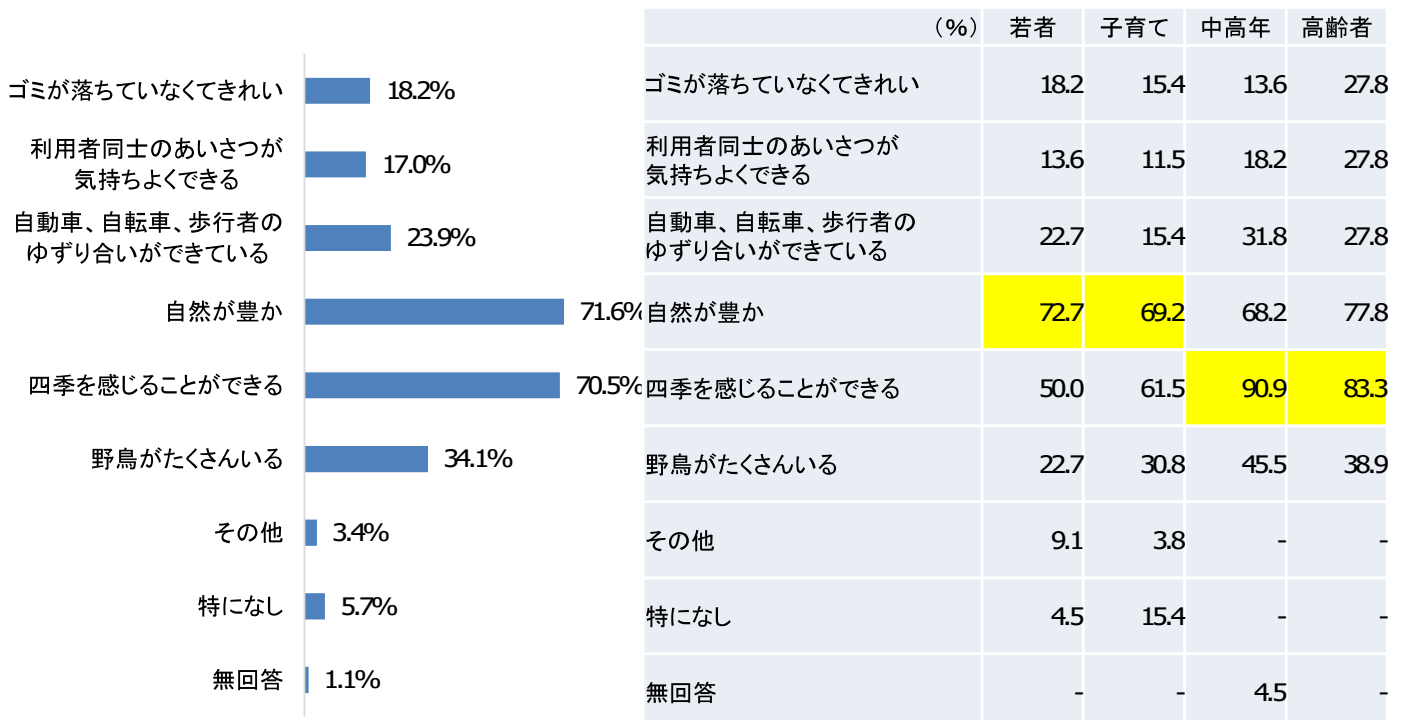
(問1で「1 ほぼ毎日」「2 週に数回」「3 月に数回」「4 年に数回」「5 ほとんど利用しない」と回答した方)



- 佐鳴湖、佐鳴湖公園の利用マナーについては、『良い』(「とても良い」「どちらかと言えば良い」の合計)が約6割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年の約6割が、子育ての約5割が、高齢者の約7割が『良い』と回答しています。

問4 佐鳴湖、佐鳴湖公園の良いところ (N=88 複数回答)

(問1で「1 ほぼ毎日」「2 週に数回」「3 月に数回」「4 年に数回」「5 ほとんど利用しない」と回答した方)

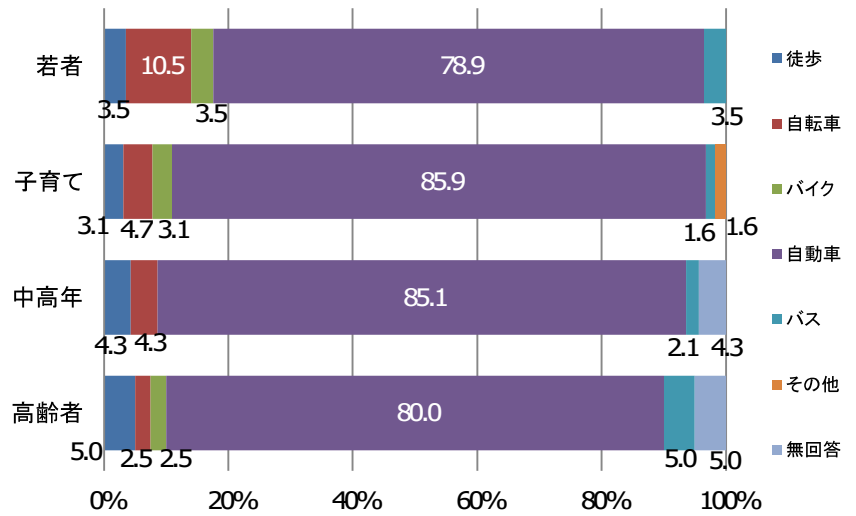
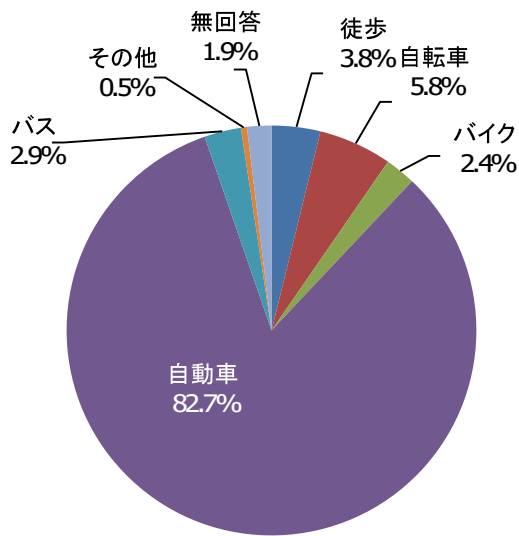


■その他意見

- ・敷地が広い
- ・景色が良い

- 佐鳴湖、佐鳴湖公園の良いところについては、「自然が豊か」と「四季を感じる事ができる」が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは「自然が豊か」が、中高年・高齢者では「四季を感じる事ができる」が最も多い回答となっています。

■ 問5 佐鳴湖までの交通手段 (N=208)

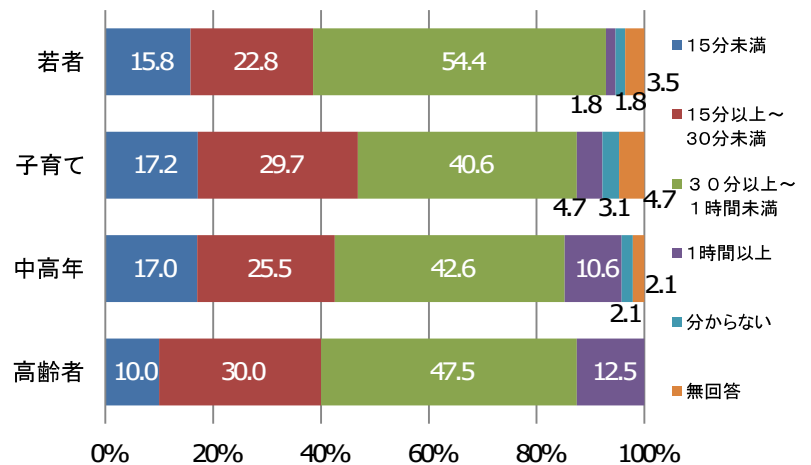
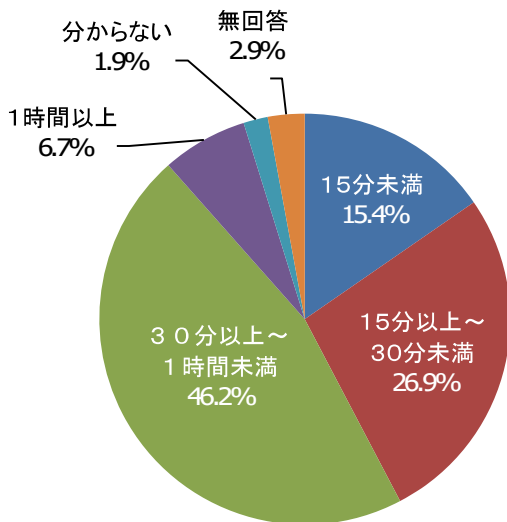


■ その他意見

- 行き方が分からない

- 佐鳴湖までの交通手段については、「自動車」が約8割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「自動車」が最も多い回答となっています。

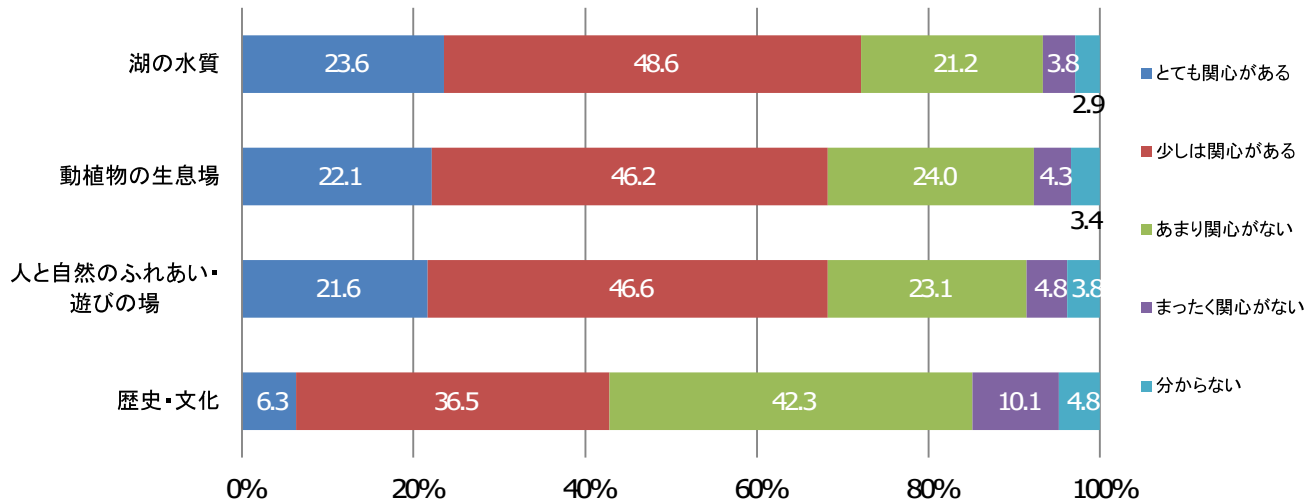
■ 問6 佐鳴湖までの所要時間 (N=208)



- 佐鳴湖までの所要時間については、「30分以上～1時間未満」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「30分以上～1時間未満」が最も多い回答となっています。

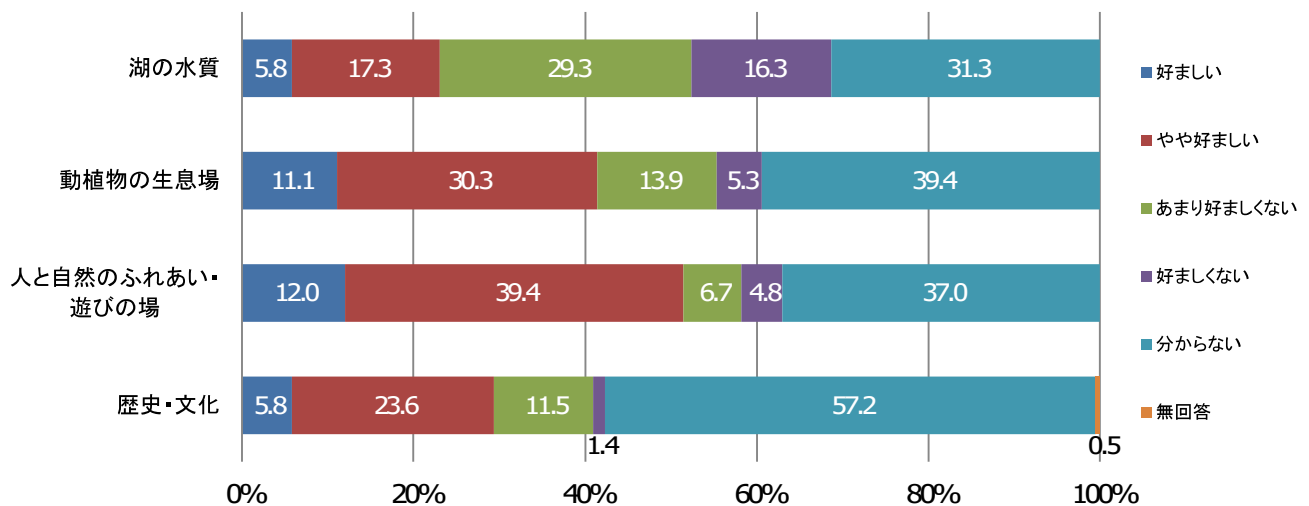
問7 佐鳴湖の水環境※への関心度 (N=208)

※ 湖と周辺を含めた環境



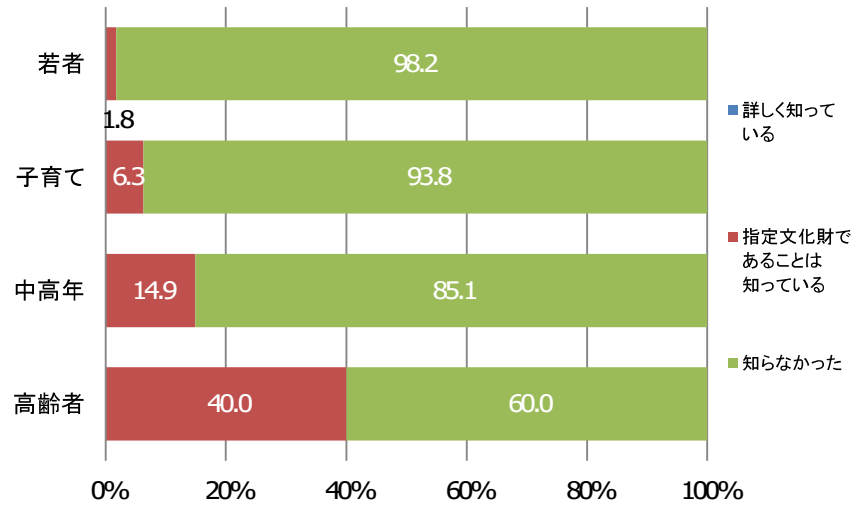
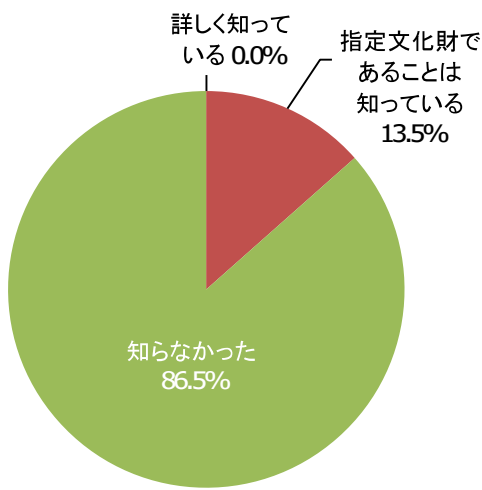
- 佐鳴湖の水環境への関心度は、「湖の水質」、「動植物の生息場」と「人と自然のふれあい・遊びの場」の3項目については約7割が『関心がある』（「とても関心がある」と「少しは関心がある」の合計）と回答しています。
- 「歴史・文化」については、『関心がある』が約4割となっています。

問8 佐鳴湖の水環境をどう思うか (N=208)



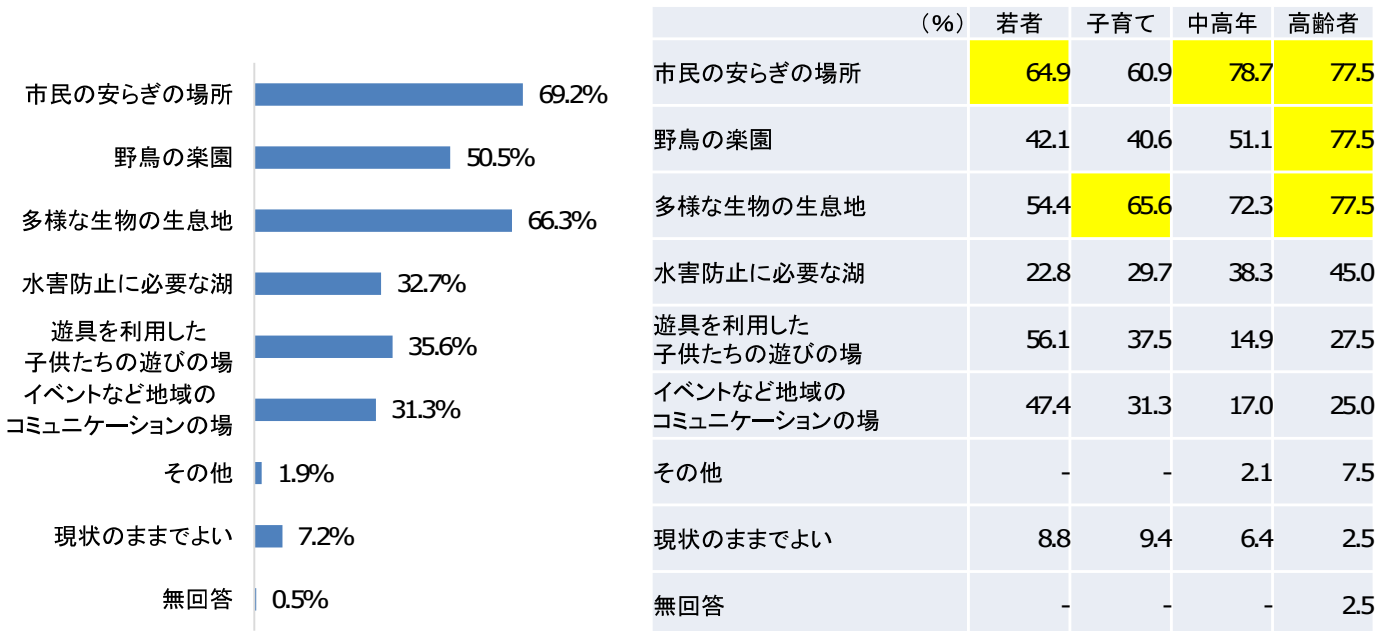
- 佐鳴湖の水環境をどう思うかについては、「湖の水質」は『好ましい』（「好ましい」と「やや好ましい」の合計）が約2割となっています。
- 「動植物の生息場」は約4割が、「人と自然のふれあい・遊びの場」は約5割が『好ましい』と回答しています。
- 「歴史・文化」は『好ましい』が約3割となっている一方で、「分からない」が約6割と最も多い回答となっています。

■問9 佐鳴湖が浜松市指定文化財(名勝)であることの認知度 (N=208)



- 佐鳴湖が浜松市指定文化財(名勝)であることの認知度については、「指定文化財であることは知っている」が約1割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて「指定文化財であることは知っている」の回答割合が高くなっており、高齢者では4割となっています。

■問10 佐鳴湖の役割として期待すること (N=208 複数回答)



■その他意見

- ・魚釣りができる
- ・貴重な動植物の保護

- 佐鳴湖の役割として期待することについては、「市民の安らぎの場所」と「多様な生物の生息地」が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年・高齢者では「市民の安らぎの場所」が、子育て・高齢者では「多様な生物の生息地」が最も多い回答となっています(高齢者では「野鳥の楽園」も同率)。